



うしくで
びっくり!

ぞく
おさがじょうのまぎ

おくの地区社協
ぶん.え いいだ あきお

なっちゃんは、おとうさんと
おさかじょうをさんぽ。

はあ はあ

ドキドキ ドキドキ

「きついさかだね、おとうさん」

「だからいいんだよ。ここは
おさかじょうだからね」

「まえにしらべたことあるからわかるよ。でも。もっとしりたいことがあるんだ」

「すごいね。おとうさんは、
くわしいことは、わからない
から おじいちゃんにきいて
ごらん」

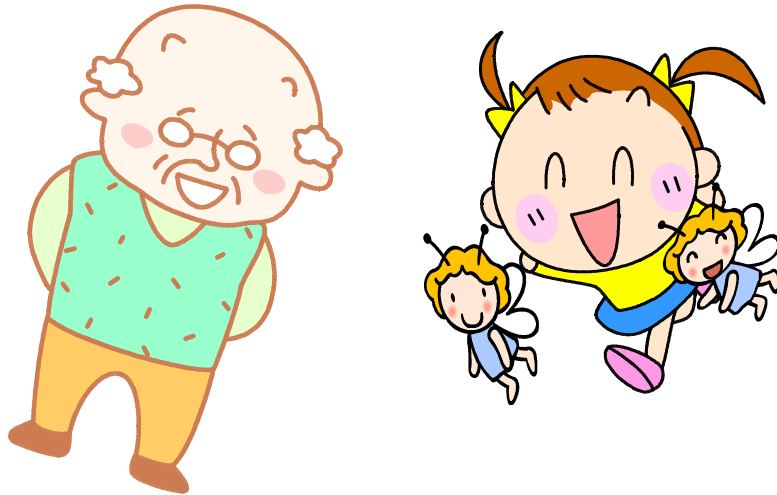
「よーし、きいてみよう」



わくわく
ドキドキ

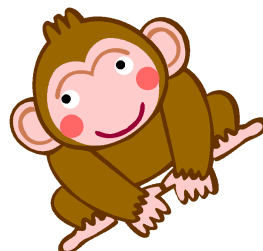


そのとき、ようせいがあらわれて、おじいちゃんのところにつれていってくれた。



なっちゃん、ものをよーくしっている おじいちゃんが、だーいすき。

あれあれ、これはおもしろそうと、なぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。どこかな？



わたしは、なぜなぜでーす。

おじいちゃんにきいてみると

「そうだな、まえにもはなしたが、おさかじょうは、おおきなく^るわ^わ4つからできているんだ。

そして、ほり・どるい・どばし・こぐち・やぐらなどがあって、まもりにつよいおしろだったんだよ」



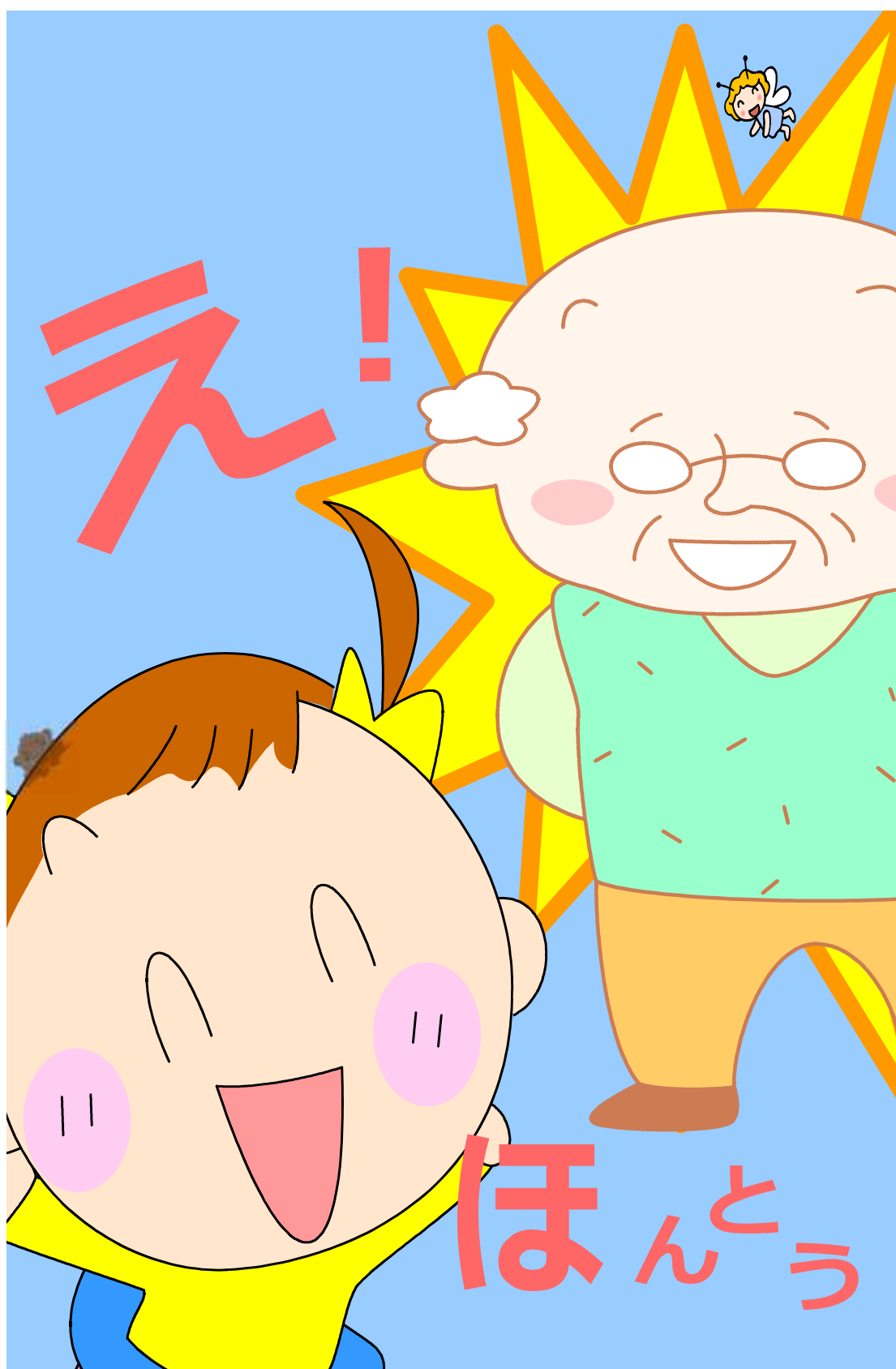
ほり

どばし



「ん～。それは、しっているよ。しりたいのは、いつごろできて、いつごろなくなったかなんだ」

そうか！ それなら、**おさ**
かじょうにくわしい**あき****おさ**
んにきいてみようか？



やくそくのひ。おじいちゃん
んとあきおさんのいえにいった。

おじいちゃんは、ようじが
できて、いそいで かえって
いった。

さっそくあきおさんにきい
てみることにした。

わくわく
どきどき

なっちゃん、ゆうきをだし
てきいてみた。

「おさかじょうは、いつごろ
できたんですか？」

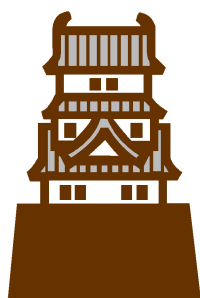
「わたしも　くわしいことは、
わからないけど、はなしてあ
げようね。はなしによると
1523 ねんに**おだ** (小田) いちぞ
くの**おかみびっちゅうのかみ**
(岡見備中守) が、つくったといわ
れているんだ。1 まんごく (い
まのおかねで **1 おくえん** をうみだす **とち** と **りょうみん**
をあたえられたということ) で、けらいは、
120 き (1 2 0 にんのうまにのった **ぶし**) ※」
だったそうだ。

※　1 きには、3 にんから
8 にんのけらいがいたので、
ぜんぶで、やく 6 0 0 にん
くらいのけらいがいたらしい。



1 き

そして「1548ねんには、
ときし（土岐氏）のたすけをうけ
たとうじょうし（いずみじょうしゅ泉城主）が、
おさかじょうを



わー
わー



せめてきたんだ。おさかじょ
しゅ **おかみびちゅうのかみ**（岡
見備中守）は、**おだし**（小田氏）のた
すけをかりて

「まけないぞー」
「それいけー」

がちがち



どっちが、かったとおもう・・・？

おかみびちゅうのかみ（岡見
備中守）が、かったんだ！

すごい

はなしはわかるけど、**かま**
くらかいどうって、しっ
てるよね。

「うん、しってるよ」

むかしは、いまのこくどう
408 ござせんみたいな**めい**
んすとりーと (たいせつなみち) だっ
たんだよ」

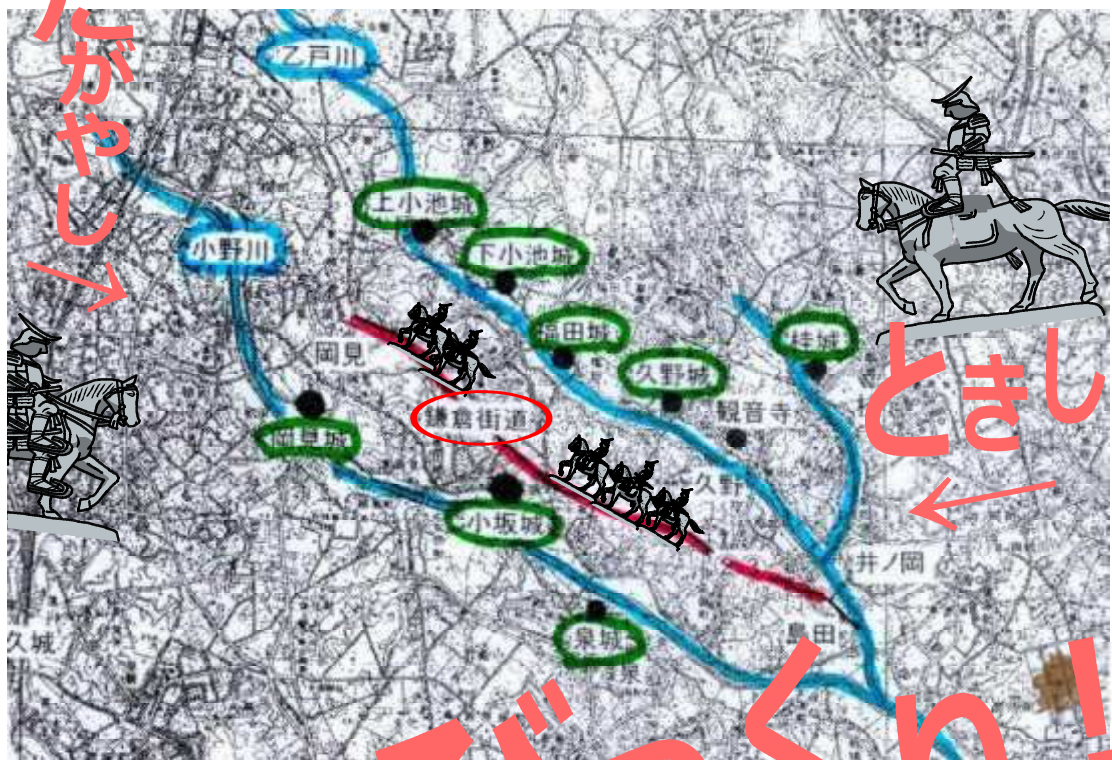
「え！　ほんとう」

なっちゃん

びっくり！

かまくらかいどうのりょう
がわにしろが、つくられてい
ることが（したのちずから）わかるか
な？

たくさんのぶしが、おもい
をはせながら・・・いきき
し、こめなどのにもつも、は
こばれていたんだ（ぐんようどうろ軍用道路？）。



またまた、

びっくり!

「まえのページのちずのように、にしからは、**たがやし（多賀谷氏）**が、ひがしからは、**ときし（土岐氏）**が、せまってきたんだ。

そんななか**おさかじょう**は、とてもたいせつなしろになったんだ。**ときし（土岐氏）**とたたかうためのきよてんとして、**うしくじょう**や**おかみじょう**をたすけるしろとしてね。

そしてね。**おおてもん（せいもん）**は、**かまくらかいどう**がわに、**うらもん**は、408 ござせんがわにあったといわれているんだ。

「へー



そうなんだ」

したのちずは、じょうかく（城郭）
としろあと（城跡）のちずなんだ。🧚‍♀️



おさかじょうあとはんいすいていず（市史跡小坂城址：牛久教育委員会より引用加筆）

まえのページのちずの、しろいところが、しろあとで、みどりのせんが、じょうかくだったらしいんだ」

「でも、どうしてしろあとは、408ごうせんがわにあったのかな？」

となっちゃんふしぎにおもった。

「そうだね。どうしてかな？
かんがえてみて・・・。」

よーくみてたら またまた
きがついた。

「あれ、あれじょうかくが、
かまくらかいどうちかくま
で、のびている・・・」

びっくり！

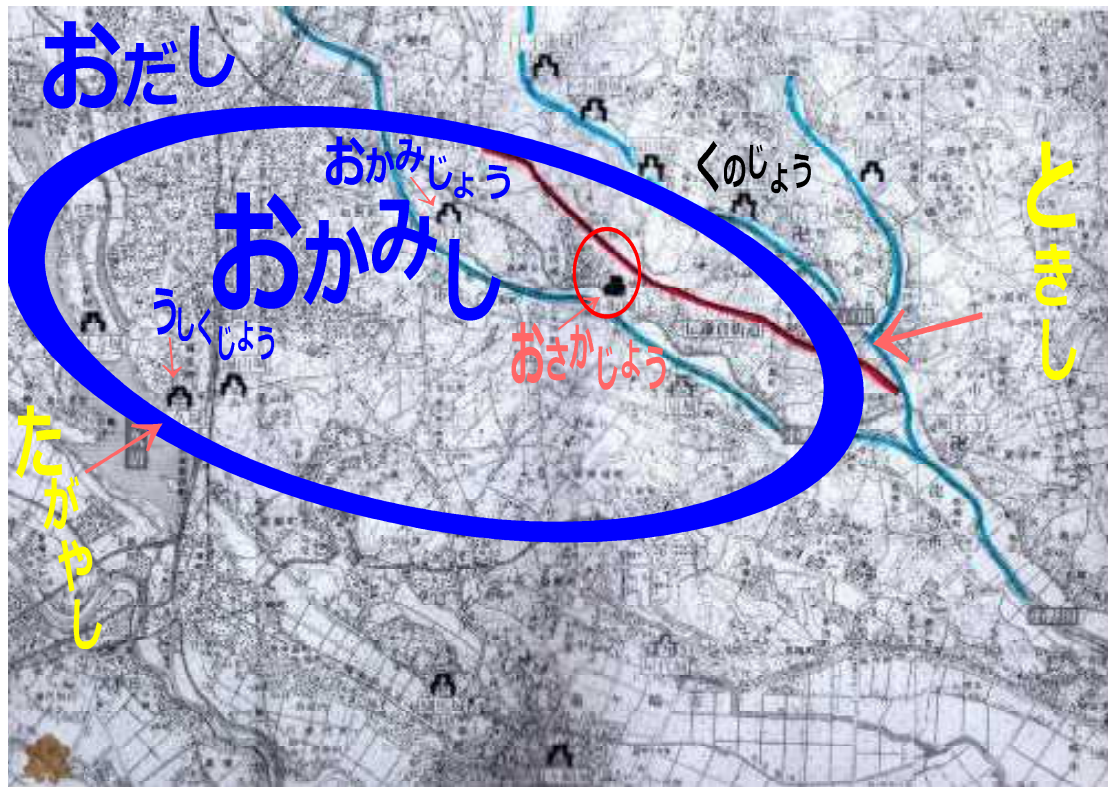
ひろーい！

「あ！そうそう。こんなちず
もあるんだよ」

「どんなちず？」

「せんごくじだいのせいりよ
くず（勢力図）だ」

(せいりよくず)



おさかじょうは、
だいじなばしょにあったんだ！

「ところで、**おさかじょう**は、
いつごろなくなったの？」



「それはね。おだじょうしま
つき（小田城始末記）によると15
84ねん6がつ13にち。さ
たけし（佐竹氏）が、しろをせめ、
とのさま（おか み びつちゆうのかみ
岡見備中守）は、せつ
ぷく。しろは、ほのおにつつ
まれなくなったんだ。

これには、かなしいおはな
しがあるんだよ。そくじよ（息
女）のひあいものがたりやたか
のかた（たか かた
鷹の方）にまつわるもの
がたりだ。

そのほかにも、おさかじょ
うにまつわるおはなしがある
んだよ」

「へー、どんなおはなし？」
こんなおはなしだよ。

「おさかじょうで、じょちゅうぼうこうをしていたきく。

あるあさ、いどでみずくみをしていると、とおくでけむりがあがっていた。「これは、てきが、ごはんをたいているのではないか」と、みかたにしらせた。

そのおかげで、みかたは、だいしょうり！

ほうびにとのさまからかんざしをもらった。ところが、まちがって、いどにおとしてしまった。おもいつめたきくは、いどにみをなげてしまった」

と　　いうおはなしだ。





おさかじょうについて、よくわかった。

なっちゃん、あきおさんにおれいをいって・・・。

いそいでかえって、おじいちゃんに おしえてあげたよ。



と めになみだをうかべて、よろこ
んでくれた。

なっちゃん、おもわず、にっこり。

なっちゃんは、
「**おさかじょう**には、しろの
つくりだけでなく、たくさん
のひとの**ねがい**や**おもい**が、
いっぱいいつまっているんだ。
やっぱり、**おさかじょう**は、
おくののたからものなんだ」
と またまた、おもった。

さて、こんどは、なにをしらべよ
うかな？

あれあれ？「すごーくたのしかった」と なぜなぜ
くんとようせいさん。つぎのひみつをもとめてスキッ
プしながら かえっていった。



またね

